



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	98,552	0.3	5,199	△23.1	5,799	△17.8	4,647	△4.5
28年3月期第3四半期	98,291	1.5	6,760	10.7	7,057	8.6	4,866	45.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,578百万円 (△2.0%) 28年3月期第3四半期 4,670百万円 (△0.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	68.91	68.82
28年3月期第3四半期	67.75	67.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	158,078	107,543	68.0
28年3月期	139,220	108,517	77.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 107,456百万円 28年3月期 108,461百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	22.50	—	25.00	47.50
29年3月期	—	25.00	—		
29年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	2.3	8,000	△12.2	8,600	△9.1	5,900	△7.7	87.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Sangetsu USA,Inc.  
新規 2社 (社名) Koroseal Interior Products Holdings,In c.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	68,070,000 株	28年3月期	69,170,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	892,671 株	28年3月期	863,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	67,450,917 株	28年3月期3Q	71,833,172 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（平成28年4月1日～12月31日）のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、新興国経済の減速や、不安定な国際情勢による景気の下振れリスクなど、先行きは依然として不透明な状況です。当社事業に関連の深い住宅市場においては、住宅ローン金利の低下や政府による住宅取得支援策の効果、資産運用ニーズ等による貸家の増加により、新設住宅着工戸数は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、2014年6月に発表した「中期経営計画（2014-2016）Next Stage Plan G」の最終年度にあたり、「強靱で成長力のある企業」に向けた施策を実行してまいりました。国内では地方型ショールームを新設し、顧客目線でのインテリアコーディネート提案の様々なキャンペーンを実施したほか、物流の最適化を目指した物流拠点の新設・統廃合を順次行っています。海外事業においては、2016年4月に中国に設立した山月堂（上海）装飾有限公司は精力的な営業活動を行った結果、成果も見えてまいりました。また11月には米国の壁装材企業Koroseal Interior Products Holdings, Inc.の買収を行い、連結グループとしての経営管理及びシナジー追求に向けた準備を進めています。さらに、新基幹システムの導入や一部業務のアウトソースといった、事業基盤の整備に向けた準備も着実に実行しています。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高98,552百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益5,199百万円（同23.1%減）、経常利益5,799百万円（同17.8%減）となりましたが、保有意義の見直しによる上場会社株式の売却で特別利益698百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,647百万円（同4.5%減）となりました。

#### （インテリア事業）

壁装事業では、ホテル市場の好調を背景としたコントラクト物件へのPRや、新設したショールームでのキャンペーンの実施など、全国の住宅ビルダーへの営業活動を強化しました。このほか、次期見本帳開発をにらみ、営業部門と連携し著名設計事務所へのヒアリングを行うなど、市場起点での商品開発に努めました。一方、新設住宅市場は好調であるものの、一戸当たりの延べ床面積は減少するなど大きな需要増にはつながりませんでした。その結果、壁装材の売上高は41,642百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

床材事業では、活況を呈しているホテルや大型オフィスなど非住宅市場の新築やリニューアル物件の採用獲得に努めました。特にホテル市場では、物件ごとに提案したデザインで作成する特注カーペットが好評を得ました。また、住宅市場では、9月に発刊した防滑性ビニル床シート「ノンスキッド」がデザイン性の高さを評価いただいたことからマンション分野での市場拡大につながり、全体としては上期に続き堅調に推移しました。この結果、床材の売上高は29,779百万円（同1.2%増）となりました。

ファブリック事業では、10月に豊富なカラーバリエーションや充実した機能性によって各種施設のニーズに幅広く対応する「コントラクトカーテンVo1.9」を発売しました。また、9月に発売した椅子生地総合見本帳「UP（アップ）」や昨年度に発刊した新見本帳「サンウィック」「ACカーテンファブリックス」を中心として、コントラクトマーケットに対する活動を強化しましたが、カーテンと椅子生地を合わせたファブリックの売上高は5,568百万円（同1.0%減）となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上7,590百万円（同0.1%減）を加え、インテリア事業における売上高は84,580百万円（同0.2%増）、営業利益は4,940百万円（同25.8%減）となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、業界内での競争が激化する中、株式会社サンゲツとのシナジーとして、大手ハウスメーカーや建材店への営業活動を強化したほか、既存取引先のシェア拡大や新規取引先の開拓といった営業活動に注力しました。さらに、営業管理体制の再構築として、利益目標の見直しを行い、総利益率の改善に繋がりました。この結果、エクステリア事業における売上高は10,995百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は305百万円（同17.3%増）となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、非住宅分野をターゲットとした首都圏の営業体制強化、株式会社サンゲツと連携した営業活動の強化を行い、大型オフィスや商業施設といった非住宅分野の納品が順調にすすみました。しかしながら、ハウジング分野の伸び悩みや、昨年度来注力しているコントラクト市場での売上比率上昇による採用から受注・納品までの期間の長期化等が影響し、売上高は3,009百万円（前年同期比3.8%増）と増加したものの、営業損失41百万円（前年同期は営業損失152百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べて18,858百万円増加し、158,078百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて974百万円減少して107,543百万円となり、自己資本比率は68.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月1日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、Sangetsu USA, Inc. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。またKoroseal Interior Products Holdings, Inc. の全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。なお、上記2社はいずれも当社の特定子会社に該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,802	24,184
受取手形及び売掛金	38,461	37,333
電子記録債権	7,113	8,752
有価証券	300	1,800
商品及び製品	10,165	13,998
仕掛品	146	266
原材料及び貯蔵品	1,403	2,748
その他	1,673	2,369
貸倒引当金	△239	△259
流動資産合計	88,825	91,194
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,354	19,494
その他(純額)	11,649	15,589
有形固定資産合計	31,003	35,084
無形固定資産		
のれん	—	10,273
その他	1,295	2,255
無形固定資産合計	1,295	12,528
投資その他の資産		
投資有価証券	12,489	12,031
その他	5,877	7,429
貸倒引当金	△271	△190
投資その他の資産合計	18,095	19,270
固定資産合計	50,395	66,884
資産合計	139,220	158,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,200	14,074
電子記録債務	3,769	8,064
1年内返済予定の長期借入金	—	500
未払法人税等	1,794	594
賞与引当金	1,450	812
資産除去債務	222	—
その他	3,278	3,757
流動負債合計	22,716	27,803
固定負債		
長期借入金	—	13,149
役員退職慰労引当金	94	95
退職給付に係る負債	6,816	7,834
資産除去債務	447	688
長期未払金	0	265
その他	627	698
固定負債合計	7,986	22,732
負債合計	30,702	50,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	76,185	75,254
自己株式	△1,748	△1,753
株主資本合計	108,058	107,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,909	2,441
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	△237	△293
退職給付に係る調整累計額	△2,268	△1,804
その他の包括利益累計額合計	402	334
新株予約権	55	87
純資産合計	108,517	107,543
負債純資産合計	139,220	158,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	98,291	98,552
売上原価	69,373	69,237
売上総利益	28,918	29,315
販売費及び一般管理費	22,157	24,115
営業利益	6,760	5,199
営業外収益		
受取利息	19	10
受取配当金	124	129
不動産賃貸料	65	64
持分法による投資利益	—	266
その他	161	191
営業外収益合計	370	663
営業外費用		
支払利息	0	21
手形売却損	2	2
自己株式取得費用	24	9
資金調達費用	—	21
持分法による投資損失	30	—
その他	16	9
営業外費用合計	74	63
経常利益	7,057	5,799
特別利益		
固定資産売却益	10	7
投資有価証券売却益	7	698
退職給付制度終了益	—	108
その他	2	0
特別利益合計	20	814
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	53	30
賃貸借契約損	—	67
その他	3	10
特別損失合計	57	109
税金等調整前四半期純利益	7,019	6,505
法人税、住民税及び事業税	1,968	1,829
法人税等調整額	184	28
法人税等合計	2,152	1,857
四半期純利益	4,866	4,647
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,866	4,647



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	4,866	4,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△151	△476
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	—	△31
退職給付に係る調整額	78	438
持分法適用会社に対する持分相当額	△122	10
その他の包括利益合計	△196	△68
四半期包括利益	4,670	4,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,670	4,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	84,436	10,980	2,875	—	98,291
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	22	△22	—
計	84,436	10,980	2,898	△22	98,291
セグメント利益又は 損失(△)	6,655	260	△152	△1	6,760

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	84,580	10,995	2,976	—	98,552
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	33	△33	—
計	84,580	10,995	3,009	△33	98,552
セグメント利益又は 損失(△)	4,940	305	△41	△5	5,199

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。